

2025年12月24日
石川県保険医協会

能登半島地震

国保・後期高齢者医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査 最終報告

能登半島地震の被災者の医療費の窓口負担免除について、石川県内の国民健康保険（以下、国保）と後期高齢者医療は2025年6月末で終了となりました。これを受け、県内の医師・歯科医師で構成する石川県保険医協会では、2025年9月より国保・後期高齢者医療加入者を対象に、能登半島地震の被災者に対する医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査を実施しました。11月30日までの回答を以ってこの調査の最終報告を行います。

なお、当会ではこれに先立ち2025年5月～8月に医療・介護に関する患者・利用者アンケートを実施し、最終報告を当会ホームページにて公開しています。（<https://ishikawahokeni.jp/menjo250827/>）



調査結果のポイント

1	合計2,355件の回答があった。 免除終了後、通院や診療内容に影響があったとの回答が 69.4% 。
2	影響の内容は「通院回数を減らした」(891件)が最多。「通院をやめた」(169件)という回答もあった。 懸念されていた 受診抑制が現実化 していた。
3	影響の理由は「一部負担金がかかるから」が全体の 88.3% と、 一部負担金が受診の妨げ になっていることが明らかになった。
4	自由記述には、医療費免除再開を望む声が多く寄せられたほか、 体調悪化が既に生じている という意見があった。
5	精神的不安 を訴える自由記述が多数あり、今後の心身の健康状態が危惧される。

能登半島地震
国保・後期高齢者医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査
<最終報告>

2025年12月24日
石川県保険医協会

2024年能登半島地震の被災者の医療費の窓口負担について、石川県内の国民健康保険（以下、国保）と後期高齢者医療は2025年6月末を以って免除措置を終了した。これを受け、石川県保険医協会はその影響を調べるため「能登半島地震の被災者に対する医療の窓口負担免除に関する受診実態調査」を実施した。

【調査期間】2025年9月1日～11月30日

【最終報告】2025年12月24日

【対象者】国保・後期高齢者医療の加入者

【回答方法】ハガキ又はオンラインより回答

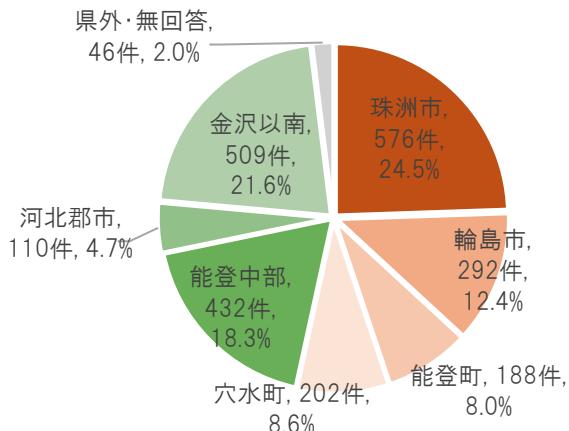
【回答数】2,355件（ハガキ2,296件、オンライン59件）

【ハガキ配布枚数】23,170枚

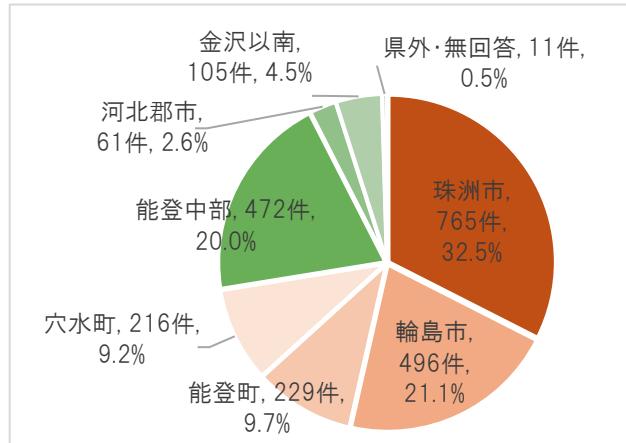
※ハガキ配布方法…会員医療機関の窓口で配布したほか、仮設住宅へ配布。

問1 居住する市町および住民票所在地

居住する市町

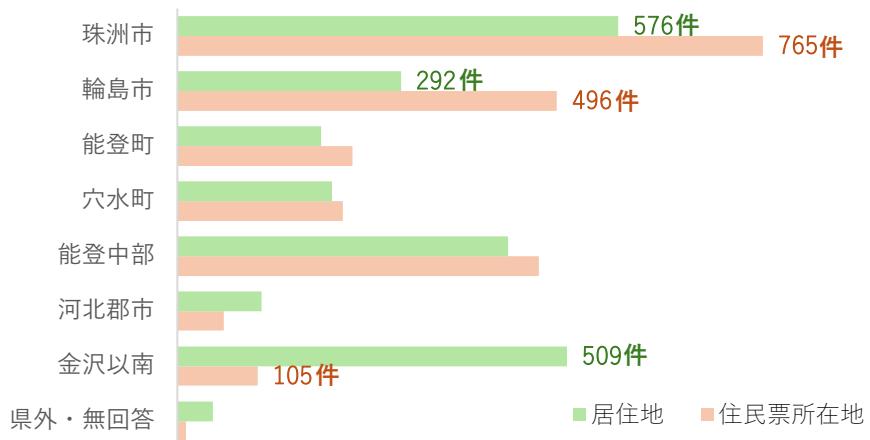


※住民票所在地の割合



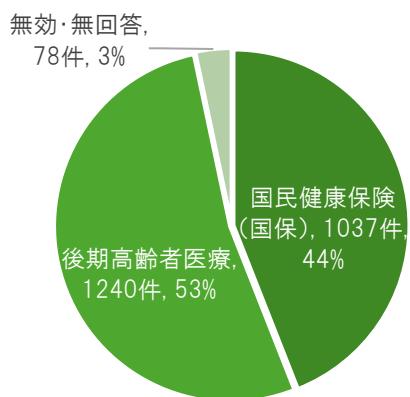
▶住民票所在地を離れた生活が続く

居住地に関して、奥能登四市町（珠洲市、輪島市、能登町、穴水町）に現在居住していると回答したのが53.5%だったのに対し、「住民票所在地」は72.5%にのぼった。現在多くの方が住民票所在地から離れた地域での生活を続けていることがうかがえる。今後住民票を現在の居住地に移す動きが進めば、能登からの人口流出問題はさらに深刻化・顕在化する可能性がある。

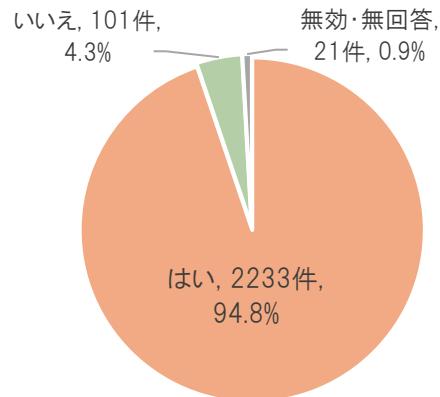


奥能登四市町	居住地			住民票			居住地			住民票			居住地			住民票			
	奥能登四市町	能登中部	能登四市町	七尾市	志賀町	中能登町	羽咋市	宝達志水町	河北郡市	かほく市	津幡町	内灘町	金沢以南	金沢市	野々市市	白山市	川北町	能美市	小松市
珠洲市	576	765	能登中部	127	156	23	40	5	河北郡市	26	25	59	金沢以南	378	74	0	12	24	7
輪島市	292	496		237	256	23	34		かほく市	14	6	41	金沢市	45	11	43	1	21	10
能登町	188	229		中能登町					津幡町				野々市市						
穴水町	202	216		羽咋市					内灘町				白山市						

問2 加入している医療保険

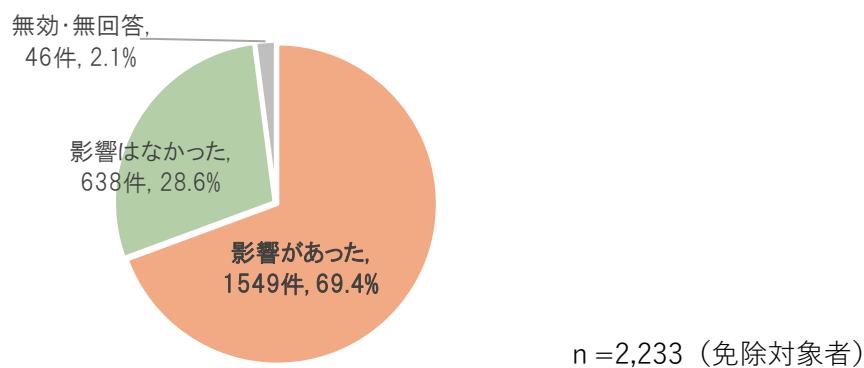


問3 免除の対象か



加入している医療保険については、国民健康保険が 44.0%、後期高齢者医療制度が 52.5% と、回答割合に大きな差はなかった。また、回答者の 9 割以上が免除対象者であった。

問4 医療費の免除終了後、通院や診療内容に影響があったか



▶免除終了後の影響

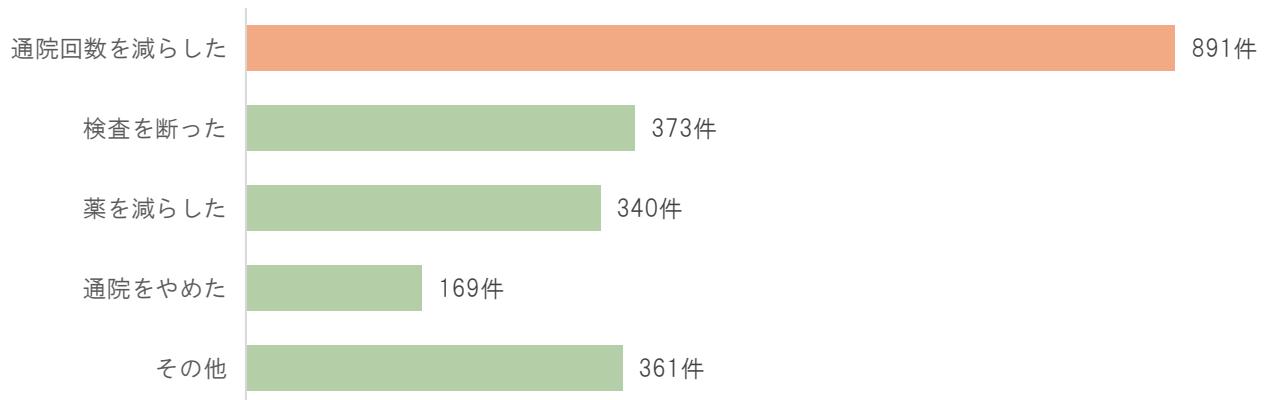
免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」との回答は **69.4%** だった。本年5月～9月（主に免除終了前）に当会が実施した調査では「医療費の免除が終了した場合、通院に影響があるか」の設問に対し 85.4% が「影響がある」と回答していた。割合は若干少なくなったものの、免除終了前から予想されていた通り、実際に **7割近くの人の通院や診療内容に影響**が出てきている。

住民票所在地に基づく市町ごとの「免除対象者数」と「免除終了後の受診状況に影響ありと回答した数」、またその割合については以下の表のとおり。

奥能登四市町	能登中部		河北都市		金沢以南	
	市町	対象者数	市町	対象者数	市町	対象者数
珠洲市	69.6%	512／736	七尾市	65.8%	かほく市	50.0%
輪島市	65.3%	309／473	志賀町	77.5%	津幡町	40.0%
能登町	65.7%	138／210	中能登町	68.2%	内灘町	69.4%
穴水町	77.3%	163／211	羽咋市	71.4%		
			宝達志水町	0.0%		
					金沢市	58.6%
					野々市市	83.3%
					白山市	72.7%
					川北町	0%
					能美市	100.0%
					小松市	50.0%
					加賀市	50.0%

※影響ありの回答数／免除対象者数（住民票所在地に基づく）、下のパーセンテージはその割合

問5 免除終了後、通院にどのような影響があったか（複数回答可）

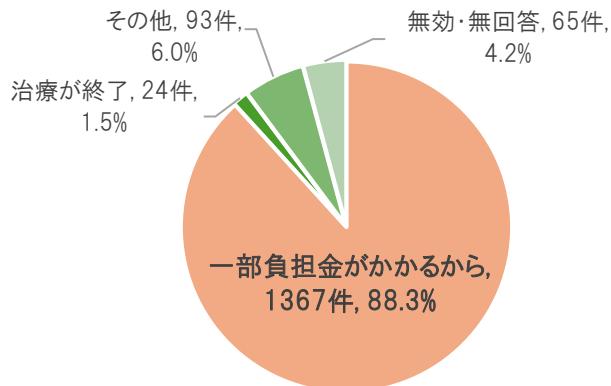


n=1,549（問4で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」と回答した人）

▶受診抑制の実態

影響の内容では、「通院回数を減らした」（891件）が最多となった。この数は問4で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」とした1,549件の57.5%に上る。それ以降は「検査を断った」（373件）、「薬を減らした」（340件）と続くが、「通院をやめた」（169件）との回答もあり、懸念されていた受診抑制が現実化していた。

問6 影響の理由は

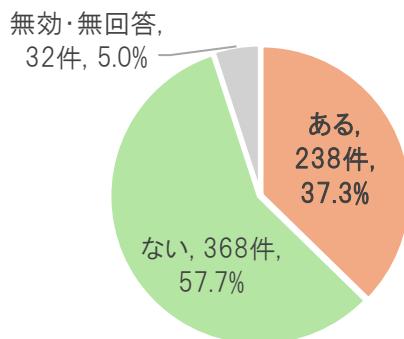


n = 1,549 (問4で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」と回答した人)

▶一部負担金が受診の障壁に

影響が出た理由として9割近くが「一部負担金がかかるから」を選択しており、一部負担金が障壁となって、患者に必要な医療が届きにくくなっていることが明らかとなった。

問7 医療費の窓口負担を支払うため、生活に影響はあったか



n = 638 (問4で免除終了後の通院や診療内容に「影響はない」と答えた人)

▶受診費用が生活を圧迫

問4で免除終了後の通院や診療内容に「影響はない」と答えた人（638件）に、「窓口負担（一部負担金）を支払うために、生活に影響があったか」と質問したところ37.3%（238件）が「ある」と回答した。生活への影響の内容について自由記述を求めたところ、「生活費、食費を切りつめた」という記述が最多で、多くの人が医療費を捻出するために生活費を切り詰めている現状がわかった。

▶生活困窮の訴え

問7では、医療費負担による生活への直接的影響の内容とは読み取れないものの「年金生活が苦しい」「医療費の負担が大きい」といった声が寄せられたほか、そもそも「生活が苦しい」といった意見、「物価高騰」の影響についての言及も多く見られた。また、問4で「影響がある」と回答した人（集計外）からも、「食料品の購入を減らした」や「エアコン、電気をあまりつけない」など、同様に生活費を切りつめているという意見が多く寄せられた。

医療にかけるお金がないというだけでなく、生活費そのものに余裕がない、被災者の家計の厳しさがうかがえる。

（自由記述抜粋）

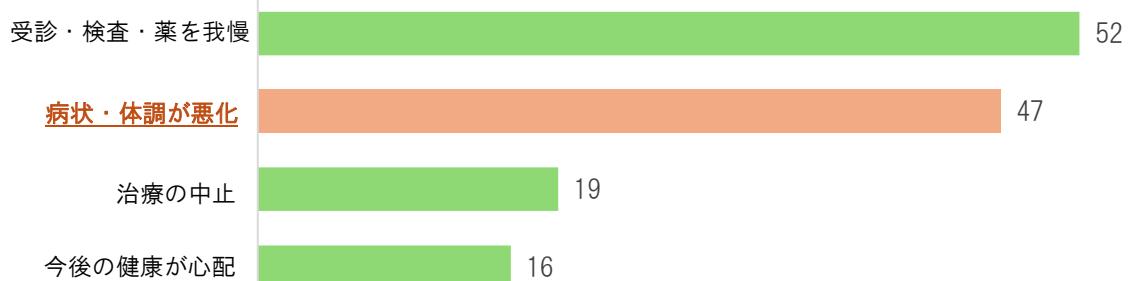
- 年金生活のため、ほかで節約。一人の年金では生活が厳しい。
- 食費を抑えることでしか生きていけない。
- 家の修繕でお金がかかるため病院へ行けていない。
- 通院回数や薬等を減らすことはできないので、これまで通り受診せざるを得ないが、住宅再建等があり、出費は大きい。
- 地震の影響で働くところがなく、これから医療費がかかってくると思えば免除がどれだけありがたいかわかりません。
- 今後の生活のために、食費を減らしたり、電気料金を減らしたりといろいろしている。住宅、再建、修繕、アパートにしろ、今よりお金がかかるため。

自由意見

自由意見欄には 692 件の意見が寄せられた。意見の多かった「受診抑制や健康不安」「医療費免除について」「くらしやお金」の 3 項目に分類し報告する。なお、回答が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に計上している。

最も多くの意見が寄せられたのは「くらしやお金」についての 373 件で、次いで「医療費免除について」が 315 件、「受診抑制や健康不安」が 134 件となった。以下、それぞれの項目について詳細をみていく。

《受診抑制や健康不安》



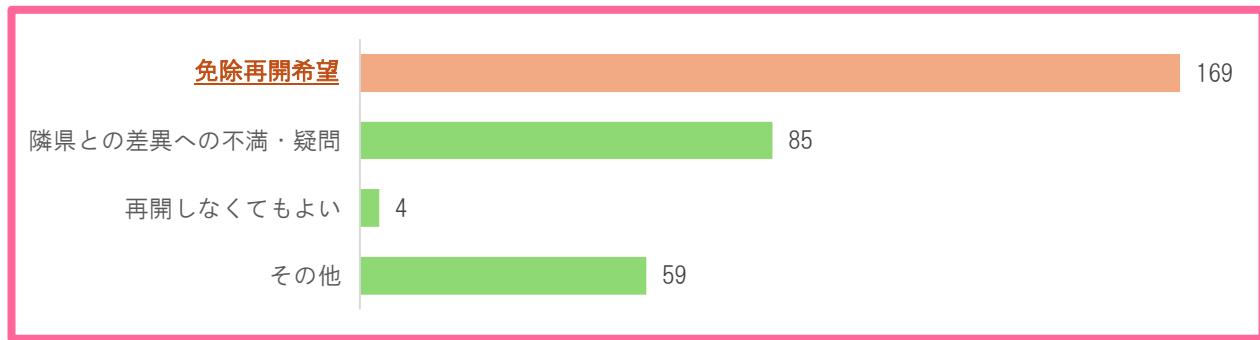
▶ 病状・体調の悪化

「受診や薬を我慢した」「治療を中止した」という受診抑制に関する意見が多く、この 2 つを合計すると 71 件にのぼる。また 既に病状・体調の悪化が生じている という訴えも 47 件あり、状況は深刻である。今後の健康に対する心配の声も 16 件寄せられ、受診抑制や治療中断による悪影響が更に増大することが懸念される。

(自由記述抜粋)

- 被災後、なかなか再建が進まない状況が続き約 1 年 9 か月が経ち、**心身の不調**が出てきています。しかし生活の余裕がなく、病院を受診できずにより、疲労やストレスが重なっています。
- 地震のため、家も家財も全部なくなっている生活するためにお金がかかり、そうなるとついつい体調わるくなってしまって病院をがまんしてひどい今までいる事が多くなっている。何とかならないか。
- 仮設住宅に入居してから、体の不調が次々出ました。
- 年金生活で慣れない土地で生活しながら、地震後は体調が悪くなることが多く、病院に行きたくてもお金がかかるため我慢する事が多くなった。本当に困っています
- **病院の通院回数を減らし、回数を減らしたことにより、病気が悪化し、とてもつらい状況です。**

«医療費免除について»



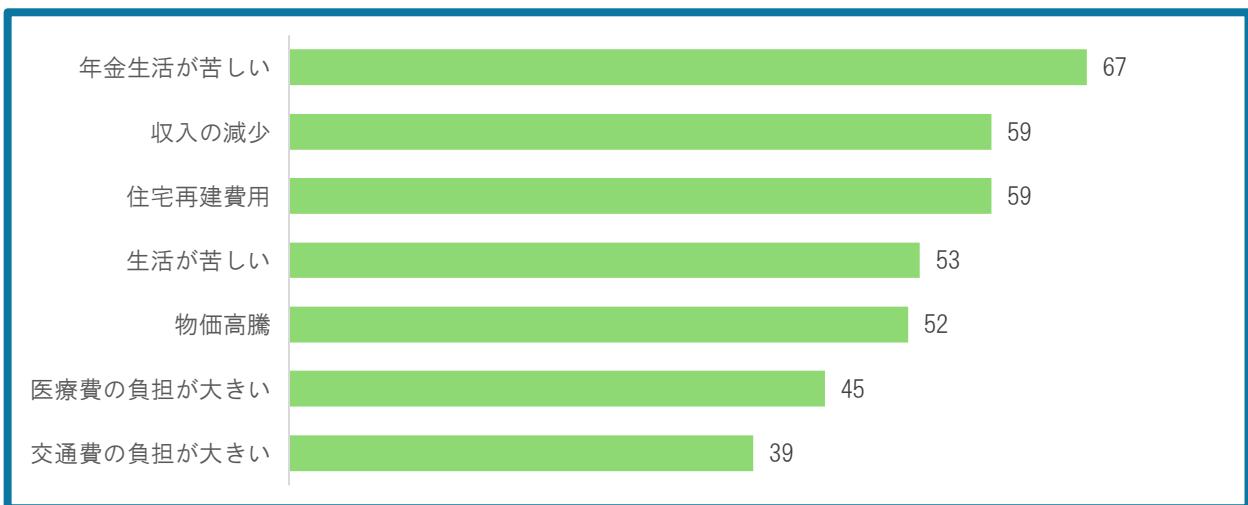
▶免除再開を望む声多数

医療費免除再開を望む意見が最も多く 169 件だった一方、免除を再開しなくてもよいという意見は 4 件にとどまった。また富山県、福井県の国保と後期高齢者医療が 9 月末まで免除を延長する中、石川県が 6 月末で終了したことに対する不満・疑問が 85 件となったほか、免除に対する感謝の声も複数寄せられた。

(自由記述抜粋)

- 再建は道半ばであり、せめて 2 年間は免除が必要と思います。
- **被害が大きかった石川県で免除終了はなぜか。** 年寄りに金をかけられないと言っているようなもの。みんな他人事。
- せめて仮設にいる間くらいは医療費免除があれば助かります。
- 現在、富山県にて受診しているが、富山県は継続しているのに石川県に住民票があるため免除とならないのはとても不公平を感じる。
- まだまだ復旧、復興も進んでいません。医療費免除の再開を是非お願いしたいです。
- 富山、福井県が負担免除が引き続き実施されているのに石川（とくに能登）地区の高齢化率が高く、医者、病院に行く回数を減らしている、との話を聞く。地震での直接死より、その後の健康問題で亡くなる方が多くなっていることから、長い目で見て**免除を復活するべき**です。

«くらしやお金»



▶少ない収入

くらしやお金に関することでは、年金額の少なさとそれによる生活の困難さの訴えが多かったほか、**地震の影響とみられる収入減**に関する意見が寄せられ、被災地の**なりわいの復興が未だ不十分**な様子がうかがえる。

▶のしかかる住宅再建費用

住宅再建費用に関しては、負担の大きさや支払いに対する不安、それに伴う生活の苦しさを訴える声が上がっている。また、もともとの生活の苦しさに加え、地震がなければ生じることのなかった住宅再建費用が重くのしかかり、被災者の生活再建を一層困難にしている。

▶物価高騰や免除終了による生活の圧迫

食費やガソリン代などの物価高騰、免除終了後の医療費などが、被災者の日々のくらしへ大きく影響しており、自由記述からはその負担の重さが伝わってくる。

(自由記述抜粋)

- 年金が少なく、いつ治療断念をするか考える毎日です。
- 地震、大雨で生活が苦しい。医療費が免除になれば助かります。
- 物価高と住宅の再建に困っています。医療費の免除をお願いします。
- 何でもかんでも値上がりで食べる事で精一杯です。家もなくなり、仕事もなくなった。どうすればよいのか毎日くよくよしております。
- 病院での3割負担は意外に金額が高いです。地震で職を失い今はパートなので収入が減りました。
- 物価高に、通院にガソリン代も高い。住宅再建にもお金がかかる。この現状では食費と医療費を減らすしかありません。せめて医療費を免除してほしい！
- 生活再建のため、まとまったお金が必要になりました。どこかで切り詰めなければなりません。受診を控えるしかありません。
- どうか被災者の声を国や県に届けて下さい。年金だけの収入で生活しており医療費が重くのしかかっています。住まいの再建へ向け、食費などの生活費を切り詰めていますが限界です。できるかぎり病院の受診を控えます。

自由記述で寄せられた意見

▶精神的不安の訴え

前項の自由意見欄だけでなく、各設問にも多くの自由記述が寄せられた。

医療、健康、経済的負担、復旧・復旧、将来に対してなど、領域は複数にまたがるが、どの設問においても「不安」「つらい」「悲しい」「困っている」「助けて」といった**精神的不安**が読み取れる訴えが多数あったことが特徴的であった。被災者の置かれた厳しい環境と、その影響の一端が表れていると思われ、今後の**精神状態の悪化や、それに伴う疾病**が危惧される。

（自由記述抜粋）問7より

- みなしが終了してアパート代、病院代の負担は年金だけの収入では大変です。今後が**不安**です。
- 物価が高いので困ってます。**助けて**ください。
- 医療費負担が多くなったので生活がとても苦しくなり、**つらい**ですし、かわいそうです。
- 食費、医療費、住居固定費等が大きいため、妻の働く勤務数を増やし、体力的、精神的にとても**苦しい。つらい**。
- 家もなく仮設生活で再建も出来ず、先の生活が心配です。

（自由記述抜粋）自由意見欄より

- 後期高齢者で年金生活。これから的生活が心配です。
- 夫が難病のため医療費免除はとても助かりました。住宅関連でお金が足りず困っています。老いた身ですべてが無くなり、**前が見えません**。
- 気持ちが落ち着かない。先々のことを考えると、**気が重い**。高齢者としては、結果をどうこうではなく気持ちの整理が必要です。アンケートは続けてほしい。
- ぜんぜん、話にならないくらい進まず、年が行くだけ。体は弱る一方で、仮設住宅で暗い毎日です。
- **生きるのがつらい**、生活苦。先が見えない。いっそ何かを成し、死んで、世に窮状を訴えたい。
- 震災後より何も変わらず、先が見えない不安な生活。せめて医療費免除の延長ぐらいは。
- S.53年、苦労して建てた家。地震のため、更地になりました。**悲しい**です。
- 家再建の目途も立たぬのに医療費もかさみ、このまま死んでいくのかと思い、**情けない**気持ちです。87才。
- 富山、福井県はまだ終了していないのに！高齢者になって、家も全壊で土地も液状化で、医療費終了で今後どう生活していくのか。**助けて**ほしいです。

まとめ

▶受診抑制の現実化、既に体調悪化の声も

調査結果から、医療費一部負担金免除の終了が被災者の受診行動に大きく影響し、危惧されていた受診抑制が現実化していることが明らかになった。問5の免除終了後の影響に対する回答では「通院回数を減らした」が891件あったが、これはアンケート回答者全体の2,355件の約4割(38.0%)に当たる。この数字をそのまま被災地区の住民全体にあてはめることはできないが、地区全体では相当数の人が我慢して通院回数を減らしたり、受診をあきらめたりしていることが推察される。また自由記述では、受診抑制により既に病状・体調の悪化が生じているという深刻な現状も報告された。

▶病気の発見遅れや重症化を強く懸念

上記のとおり、既に体調悪化が始めているが、診療中断による慢性疾患の悪化、歯科受診の遅れによる口腔機能の低下などは、時間の経過に伴いこれからますます増加する可能性がある。医療費免除終了に伴い、経済的理由から適切な医療を受けることができなくなれば、病気の発見遅れや重症化といった重大な事態を引き起こすことが強く懸念される。

▶精神的不安の訴え多数

被災者は震災前の日常を取り戻したとは言い難く、未だ困難な状況にある。急激な環境変化や過酷な生活が長引く中で、精神的負担は平時より増大していることは想像に難くない。実際に自由記述では、健康への影響が既に生じているという内容のほか、精神的不安を訴える記述も多く見られた。被災者を取り巻く厳しい環境と、その影響の一端が表れていると思われ、今後の精神状態の悪化やそれに伴う疾病が危惧される。

▶健康を守るため医療費除再開を

調査を通じ、医療費免除終了によって被災者が適切な医療を受けられない状況となっていること、それによって既に健康状態の悪化が生じ始めていることが明らかとなった。また回答には精神的不安の訴えも多く、今後心身の健康状態がさらに悪化する可能性は高い。行政やボランティアによる見守り事業などによる受診勧奨はもちろん大切で必要なことではあるが、一部負担金が障壁となりそもそも受診できない人が多くいることもわかった。経済的負担の心配なく受診できる環境を整えることは、被災者の心身の健康を守るために非常に重要である。以上から、医療費免除の再開を強く求めるものである。

- ① **自由意見欄** 仮設住宅で生活しています。医療費免除が終了し、受診の回数を減らして体調が悪化し、入院する事になりました。経済的負担を減らしたいので受診控えましたが余計負担になってしまった。福祉と富山が免除されているなら、なぜ石川も 石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 免除にならないのかが、根謙です。
- ② **自由意見欄** 長い間の免除大変ありがたかったです。期間終了してしまったが、定期的に受院してなければならぬので、これから負担が大きくなります。少しの体調不良はがまんしてます。 石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 です。
- ③ **自由意見欄** 地震の際に負傷した足がまだ治らない。地震を境目に、着のきのよさがなく、お金がなく、いざに病院にかかるには重いです。
- ④ **自由意見欄** 具合が悪い時でも我慢してしまう。病状の悪化が心配である。一部負担は免除してほしい。応える。
- ⑤ **自由意見欄** 毎日のんびり草はりがせないけど足の指がはれたけど医療費やらかさない自己流でどうしてひどくなり病院へ行くと早く治るこないとか二重化した。お勤めがきらいです。 本まに因る 石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373
- ⑥ **自由意見欄** 年金生活で、慣れるまでは生活しながら地震後は体調が悪くなる事多く、病院に行きましたが、お金かかると我慢する事が多い。 本まに因る 石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373
- ⑦ **自由意見欄** 医療費の心配をしても病院に行くとい安心感。本当に有難かったです。今は生活者のことを考えると、二の足をふるんでいます。
- ⑧ **自由意見欄** 物価高で生活費が増え、年金だけの暮らしは大変です。出費を抑えるために、7月から通院をやめました。体調が悪くなっているのを感じますが、仕方ありません。
- ⑨ **自由意見欄** 医療費の一部負担は、被災から立ち直りが遅いと感じる生活をより苦しくしています。
- ⑩ **自由意見欄** 痛ステージ4、治療を変える歌にいかず向4はほんにレしたが、医療、お風呂などいけるしかなし
- ⑪ **自由意見欄** 今まにみなみ仮設へお世話になりましたが、もうこら寝も見たりしてありますか、決まりませんし地元の災害公営住宅もまた進んであります。つづましく生活してあります。元気か前のまことに出来ません、嬉しいです。
- ⑫ **自由意見欄** 被災後、なかなか再建が進まない状況が続き約1年9ヶ月が経ち、心身の不調が出てきています。しかし生活の余裕がなく、病院を受診できずにおり、疲労やストレスが重なっています。
- ⑬ **所得制限や仮設住宅居住者限定期など** 制限を設けて良いので復活して欲しい。働きにくても働けない人や高齢者を見捨てないで欲しい。
- ⑭ **自由意見欄** 今、病院の通院回数を減らし、回数を減らしたことにより、病気が悪化し、とてもつらい状態です。物価高で生活も苦しく、医療費もこれ以上……もう助けてほしいです。
- ⑮ **医療費がこれまで通り通院回数を減らして(部屋に)入り込みがちになりました。**
- ⑯ **自由意見欄** (富山老病院はまだ立ち直り中です!) 高齢者にて、家も全壊で土地も液状化で医療費終了で今後どう生活していくのか、助けてほしいです。
- ⑰ **自由意見欄** 地震の影響から治療が必要になりましたが、一部負担金、交通費が高額になり、我慢している現状です。負担軽減されると安心して治療・通院できるため、検討をお願いします。
- ⑱ **自由意見欄** 免除の継続をお願いします。生活費を切り詰めていますが、住宅再建のお金が足りずに困っています。そのため皮膚科・眼科の通院をやめました。精神医療も痛くもがまんして、通っていません。
- ⑲ **自由意見欄** ク月から治療代や医療費が大きくなり、困っています。高齢な親は家を失っています。面倒みてます。半壊で未だ家の補修は順次待ちです。(年金暮らし)「死にたい」と言つて、被災老人たちを助けて下さい!
- ⑳ **自由意見欄** 今まで住んでいた、お医者さんの所に通っています。先生の顔を見るとどこか安心するので、ふるふとを離れていても、病気ももうすぐです。心の安心も嬉しいので、2ヶ月~3ヶ月に1回通い続け、少しうつ病もあるが、とても不宜です。 とても不寧です。 本まに因る 石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373
- ㉑ **経済的負担があり、受診するがいやになつた。精神的にも不安になつた。**

自由意見欄

㉒ 自分の住処も決まらない、今は部屋で…
自分で立ちだけじゃなく、けとつらいね

自由意見欄

㉓ かん健診で要検査と指摘されたが
受診をためらっている（医療費負担の増額がある）

自由意見欄

㉔ 被災者の多くが年金生活者です。
医療費免除の終了が、通院に多大な影響
影響がでることを想像できなく思っています。
少し被災者の声を聞いて頂き、いかがな対応物

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お預けいす

自由意見欄

㉕ 震災後は、気が張っていたのが、1年すぎて
ジワジワいろいろ所に疲れが溜っている
ように思う。体調不良は、これからでてくる。

自由意見欄

㉖ 自営業をしており、地震の影響で収入が少になりました。
みなし仮設の家賃補助もモラハリで打切りになってしまった、食費、医療費はなるべく使わないよう意識している。

自由意見欄

㉗ 地震後、家もなくなり、仕事もなくなり体調もくずし…
この先のことは考へ様がありません。病気にされ、入院や、かかりつけ医…とても心配になります。病院に通院する事も、お仕事で忙しく個人の人がからむ

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お預けいす

自由意見欄

㉘ 地震、津波、豪雨、三重の被害で、大変
再建はまだ…医療費の負担も、物価も
上り大変です。お金がない西口で治療を受けたい

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お預けいす

自由意見欄

㉙ 自分で医療費と被災料には預りがあります。
食費、衣料品等を貰うしかありません。
自分で体調をくすぐらう本末転倒ではあります。

㉚ 食費を抑え生活しています。
カット麺など食べることでなくなりました。

㉛ 向こうで販売と回答している生活への
影響大です。食費を切らなくていい時

自由意見欄

㉜ 家をなくし、仕事も12月で失しました。
仮設に居ますか、再建も済みます。
生活費もかかります。医療費だけでも

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お預けいす

自由意見欄

㉒ 震災以降、具合が悪くなることが増え、
医療費の負担が大きい。免除の時は安心して
病院にいってから、今後、金銭面で心配です。

自由意見欄

㉓ 収入減に物価高、被災者がためらう
受診ができない」と思っています。

自由意見欄

㉔ 身体の不便なうで、リハビリ
デイサービスに行っています。生活費をま
づけています。たすけて下さい。

自由意見欄

㉕ 被災地で一番被害の大きかった石川県が免除、終了
ご隣の富山県や福井県で免除が実施されているのは
納得いません。自分の修理や再建など、かかる道すじから高額な料金がかかるとおもっています。

自由意見欄

㉖ 物価高に、通院にガリリン代も高い。住宅再建に
お金かかる。この現状では、食費と医療費を
へらすしかありません。せめて医療費を免除してほしい

自由意見欄

㉗ 病院に行くのが辛いです。
不安を感じたりして居ます

自由意見欄

㉘ ①私は重病でうつ病だと1ヶ月
2万5千円もかかるので通院をやめました

自由意見欄

㉙ ②肝心で半年に1回検査をしない
ばならないがお金かかるのがやめたい

自由意見欄

㉚ 3.11以来、違うところに住むが、復興は
まだかかり、邊も農業で、自分で
自給自足…。

自由意見欄

㉛ 生活再建の為、まとめたお金が
必要になりました。どこかでさりつけられ
かけられません。受け取るがえりがありません。

自由意見欄

㉜ 家をなくし、仕事も12月で失しました。
仮設に居ますか、再建も済みます。
生活費もかかります。医療費だけでも

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お預けいす